

ふれあい、東京

No. 192

令和元年9月30日

東京のあすを創る協会会長に就任して

会長 大原正行



本年6月17日に行われた定時社員総会において、会長に選任されました大原正行でございます。「ふれあい東京」の紙面をお借りして、一言ご挨拶させていただきます。

前任の茅野祐子会長におかれましては、副会長、会長として長きにわたり、高い識見と実行力で協会の円滑な運営にご尽力されました。改めて心から敬意と謝意を表させていただきます。

当協会は、昭和32年に都民自らの創意と活力を結集して生活課題や地域課題を解決し、明るく住みよい地域社会を実現することを目的に、「東京都新生活運動協議会」として創立されました。以来、生活学校、生活会議の皆様が各地域で様々な活動に取り組み、多くの業績を残

してきました。その後、昭和36年に社団法人、平成24年に公益社団法人と形態を変更しつつも、設立目的の実現のため活動して参りました。

当協会は、『都民一人ひとりが主役となり、安全で安心して暮らせるあすの地域社会づくり』を目指しています。そのためには、これまで培ってきた経験を踏まえ、外部の声に耳を傾けることで東京に求められる課題を認識し、少子高齢化の一層の進展という社会変化の中、来年開催される東京オリンピック・パラリンピック後の東京を見据えた、日々の暮らしの豊かさを実感できる社会の実現を目指して、新たな令和の時代に適した取り組みを進めていきたいと考えています。

今後とも、会員の皆様、広く関係者の皆様方の、運動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



都生連・お手玉プロジェクトの仕分け作業



カタクリの会生活会議・ウォーキング前の準備体操

東京のあすを創る運動は、住みよい地域づくりをめざしております。そのために、地域環境保全、資源リサイクル、高齢者福祉の増進、青少年の健全育成等の活動に取り組んでいます。

これらの取り組みの原点は、人と人とのふれあいであり、心と心のふれあいが大切であります。

本紙「ふれあい東京」を運動を進めるなかまのたよりとしてご活用ください。

発行

(公社) 東京のあすを創る協会

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目11番7号

東栄八重洲ビル6階

電話 03(3272)0213 ・FAX 03(3272)1257

Eメール tou-asu@net.joy.ne.jp

ホームページ <http://www.ashita.or.jp/Tokyo/>

◇ 平成30年度事業・収支報告概要 ◇

令和元年6月17日(月)、東京都消費生活総合センターで定時社員総会が開催され、平成30年度事業報告及び収支決算、並びに理事・監事の任期満了に伴う改選及び協議報告案件について、原案どおり承認されました。その概要及び新体制は下表のとおりです。

○実践団体の活動に対する支援

- 1 活動経費の補助
- 2 指導者研究集会
- 3 機関誌・推進ニュースなどの情報の提供等
 - ・生活学校・生活会議の状況（生活学校25団体・生活会議60地区）

○普及啓発事業の開催

- ☆シンポジウムの開催 「地球にやさしい環境づくり都民フォーラム」
- ・テーマ「ごみを減らす社会の実現を！ 子供たちの未来のために」
 - ・講演：「プラスチック問題を契機に資源循環型社会を！一課題と問題点」
 - ・講師：河野博子氏（ジャーナリスト）



講演する河野 博子氏

○運動推進大会の実施

☆活動推進功労者表彰

- ・団体表彰 1団体
- ・個人表彰 5名
- ・感謝状 13名（個人）・2名（協力者）



活動推進功労者表彰式の模様

☆講演の集いの開催

- ・テーマ：「社会の宝！～次代を担う子供たちを！家庭や地域で楽しく子育て！」
- ・講演①：「ネットから子供を守る～コミュニケーション術～」、講師：萩本 悦久氏（子育てアドバイザー）
- ・講演②：「東京都教育委員会施策について」、講師：児玉 大祐氏（東京都教育庁総務部教育政策担当課長）

○平成30年度決算

(単位：円)

	決 算 額
経常収益	29,530,782
財産運用益・会費・助成金等	1,654,782
東京都補助金	27,666,000
中央協会助成金	210,000
経常費用	29,774,417
事業費	26,901,543
管理費	2,872,874
経常増減額	△243,635
経常外収益	0
経常外費用	17,000
経常外増減額	△17,000
当期一般正味財産増減額	△260,635
一般正味財産期首残高	16,011,705
一般正味財産期末残高	15,751,070
差引増減	△260,635

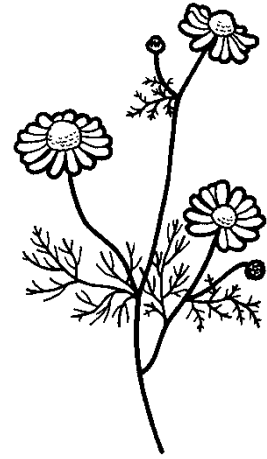


総会の模様

○公益社団法人東京のあすを創る協会役員名簿

(役員任期 令和元年6月17日から令和3年6月定時総会終結の時まで、*新任)

役職名	氏名	所属等
会長	大原 正行*	(公財)東京都都市づくり公社理事長
副会長	柴 俊男	東京都生活会議連絡協議会前会長・相談役
	田丸せつ子	東京都生活学校連絡協議会会長
常務理事	藤本 龍夫*	(公社)東京のあすを創る協会事務局長
理事	太田 誠一	東京都教育庁地域教育支援部長
	青木 英二	特別区長会代表(目黒区長)
	永見 理夫	東京都市長会代表(国立市長)
	高木 雅信	読売新聞東京本社編集局生活部長
	村木 憲幸*	NHK首都圏営業推進センター専任部長
	森 まり子	東京商工会議所検定事業部長
	西村 弘	東京都生活会議連絡協議会会長
	矢野 瑞耶	大田区生活学校連絡協議会会長
監事	町田 初恵	(公社)東京のあすを創る協会事務局次長
	鈴木 和子	前全国生活学校連絡協議会事務局長
	廣瀬 丈久	前東京都教育庁局務担当部長



【訃報】柴 俊男副会長は、8月19日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

◆都協会等の動き

○令和元年度代表者研究集会開催 6月7日(金) 東京都消費生活総合センター

生活学校・生活会議の代表者など70名が参加し、「運動推進の基本的考え方」及び「活動費の取扱い」について、説明を行いました。続いて、国立市・くにたち生活学校運営委員長の住原美和子氏、及び、立川市・たちかわ水辺の楽校運営協議会生活会議の事務局長竹内明美氏より、活動事例報告がありました。その後、都生連会長の田丸せつ子氏より、令和元年度の日創協の事業説明が行われました。



住原 美和子氏

竹内 明美氏

○令和元年度東京都生活会議連絡協議会総会開催 6月7日(金) 東京都消費生活総合センター

平成30年度事業報告、同収支決算報告及び同会計監査報告、令和元年度事業計画、同予算、役員改選を審議し、原案通り承認、決定されました。

○令和元年度東京都生活学校連絡協議会総会開催 6月7日(金) 東京都消費生活総合センター

平成30年度事業報告、同収支決算、同会計監査報告、令和元年度事業計画、同収支予算、役員改選の審議が行われ、原案通り承認、決定されました。

○令和元年度生活学校・生活会議運動全国大会開催 6月4日(火) 国立オリンピック記念青少年総合センター

あしたの日本を創る運動推進功労表彰式が行われ、内閣官房長官表彰に久万千鶴氏(日野第一生活学校)、会長表彰(個人)に宮代幸枝氏(長谷戸生活学校)が、受賞されました。

その後、「子どもの居場所づくり」についての講演に引き続き、分科会で協議が行われ、第3分科会『地域課題の解決に向けて』では練馬176地域ITリーダーの会生活会議の廣瀬勲氏が、高齢者向けのパソコンの相談会や講習会等の開催など、区民の「情報格差解消」を目指した活動に取り組んでいると報告されました。



久万 千鶴氏

宮代 幸枝氏

生活学校・生活会議の活動紹介！

『皆で、楽しく活動を！！』

渋谷区・本町生活学校運営委員長 三原 庸子



副都心が目に見えるここ渋谷区本町は、人情味豊かな一面とシックな一面が洒色よく調和のとれた街に変わりつつ、一時は減少していた人々も増えてきたように思っています。

毎年夏休みに入ると、親子映画大会や世界でたった一つの自分だけの親子万華鏡作りを開催し、その時には事前に環境や防災の学習会を実施しています。

フードドライブは、毎月第2土曜日に本町区民館の3階集会室をお借りして朝10時～午後2時まで受付を開始、但し、昼間お仕事をしている方が多いので午前9時～午後5時まで区民館で対処しながら、定例会をしたり都生連や渋生連の配布物や伝達事項の打合せ等、その他フードドライブは、本町まつりの他、年間13～15回は旗やカゴを持って参加、集められた品物は児童養護施設に運搬しています。



自分だけの親子万華鏡づくりの様様

また、PTA手芸サークルのお母さん方と、主体メンバーで小物づくり・お手玉、本町学園フェスティバルのミニツリー制作、冬休み前のクリスマス親子映画大会、NO₂測定調査、また、昭和45年に開始した地元を考えるテーマ『身近な政治』は、私たちにとって重要な活動であり、現在も地元の議員さん方を招き、地域の施設・環境・公害等について話し合いをし、問題提起をしながら打開策見つけその結果、地域には渋谷区本町学園小中一貫校をはじめ、狭かった道幅も徐々に広がり家を建て直すときにはそれぞれの方がセットバックしてくれています。本町第二グラウンドには防水用の貯水タンクが地下に埋められ様々な公共施設が整備されています。現在の町名も生活学校の先輩たちが「ほんちょう」ではなく「ほんまち」と名銘を登録したと聞いています

これからも、本町学園の先生方やPTAの方々と一緒に地域行事の協力参加をしながら楽しく活動していきたいと思います。

『対話と交流、そして学びを通じて人と地域をつなげる東京にしがわ大学』

国立市・東京にしがわ大学生生活会議事務局長 軽部 孝夫



東京にしがわ大学は東京の多摩地域すべてが学びのフィールドです。授業&クラブ活動は、誰もが先生、誰もが生徒、人と人をつなぐ“きっかけづくり”を行ってまもなく創立10周年を迎えます。登録学生数は3,500人を数え、実施した授業・イベント数は200以上になり、子供から大人まで誰でもが気軽に学べる場として、自由で開放的な『新しいコミュニティづくり』をサポートして参りました。今後も地域の力を掘り起こし、学びあうコミュニティのプラットフォームを創り、地域住民と積極的な交流をして参ります。授業やクラブ活動では、街の散策だったり、農業だつたり、実験だつたり、子育てだつたりさまざまです。知りたかったこと、伝えたかったこと、誰かと一緒にやってみたかったこと、学びを通じて、ひとりひとりの願いをつなげて実現する場を東京にしがわ大学は目指しています。

現在のクラブ活動は囲碁部、ヨガ部、地図部等があります。囲碁部は『IGO Cafe にわ大サロン』として毎月1回、国分寺の胡桃堂喫茶店で、ヨガ部は『にわヨガ』として立川市子ども未来センターのスタジオで、地図部は休日に地図をもって街を散策したりしています。東京にしがわ大学では誰でも気軽に参加できて、いつでもふらっと立ち寄れる、多摩地域の『庭』のようなあたたかい場を提供して参ります。



『IGO Cafe にわ大サロン』の参加メンバー

東京のあすを創る協会の会員の皆様、東京にしがわ大学をご自身の自己啓発の場として、そして沢山の学びの場としてご利用ください。詳しいことは『東京にしがわ大学』で検索いただけますと、授業の内容などをご覧ください。